

飯能市公共施設等総合管理計画

個別施設計画（児童福祉施設等）

令和3年2月
飯能市

【目次】	P.1
第1章 背景と目的	P.2
1. 1 背景	P.2
1. 2 目的	P.2
1. 3 計画期間	P.3
1. 4 対象施設	P.3
第2章 施設の実態	P.3
2. 1 対象施設の概要	P.3
2. 2 施設の現状	P.3
2. 3 活用状況	P.4
2. 4 施設維持・管理にかかる経費	P.4
第3章 施設整備の基本的な方針	P.5
3. 1 施設の規模・配置計画等の方針	P.5
3. 2 長寿命化の方針	P.5
第4章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	P.5
4. 1 改修等の整備水準	P.5
4. 2 維持管理の項目・手法等	P.5
第5章 長寿命化等の実施計画	P.6
5. 1 改修等の優先順位付けと実施計画	P.6
5. 2 長寿命化の見通し、長寿命化の効果	P.7
第6章 長寿命化等の継続的運用方針	P.8
6. 1 情報基盤の整備と活用	P.8
6. 2 推進体制等の整備	P.8
6. 3 フォローアップ	P.8

第1章 背景と目的

1. 1 背景

児童福祉施設等は、地区行政センター、保育所、小学校との複合施設となっており、地域を基盤に遊びを通じて子どもの健全な育成を図る施設として、美杉台児童館、子育て総合センター、いるかひろば及びこここひろばが設立されました。

これらの施設は築20年以上が経過している複合施設が3か所あり、全体的に施設の老朽化が進行する中、修繕等の維持管理費が増大し、今後は大規模改修の時期を迎えます。

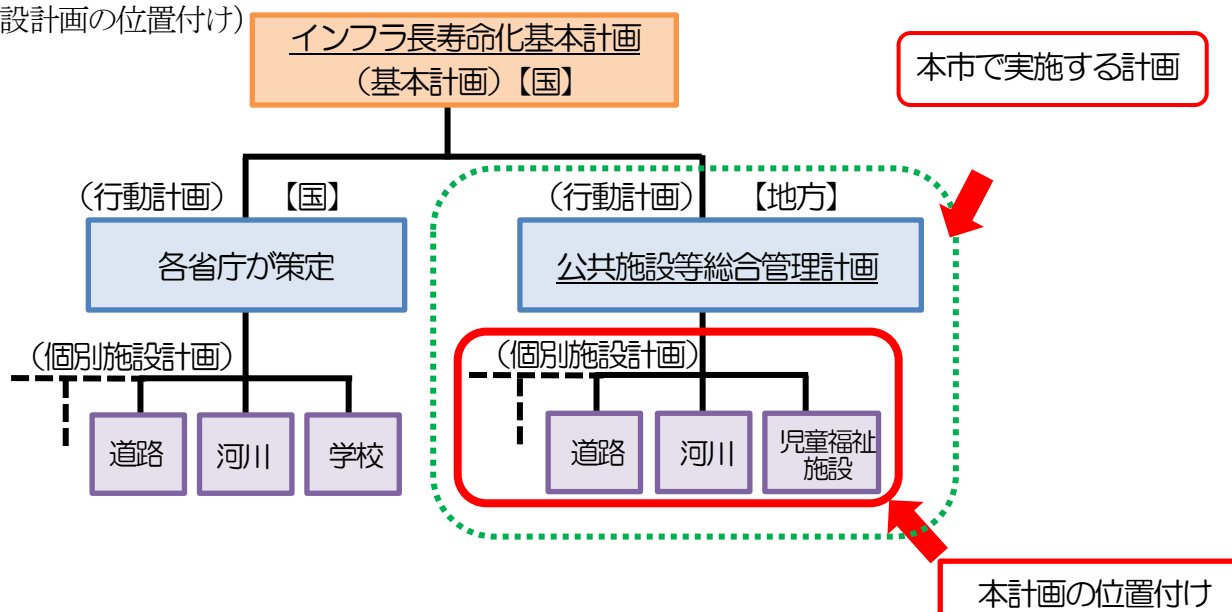
また、近年の人口動態や社会経済情勢の変化に伴う施設の需要の変化を踏まえ、子どもの居場所としての施設のあり方について考えていく必要があります。

施設の適正な維持・管理・更新問題は、全国の自治体に共通した課題であり、避けることのできない問題として早めの対策が必要となっています。

1. 2 目的

本計画の目的は、平成29年3月に策定した「飯能市公共施設等総合管理計画」に基づき、個別施設ごとの具体的な整備方針や実施スケジュール等を「個別施設計画」として示すものです。

(個別施設計画の位置付け)



1. 3 計画期間

本計画期間は、令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの10年間とします。ただし、この期間内であっても人口動態、社会経済情勢、国の補助制度などの動向により、柔軟に計画を見直します。

1. 4 対象施設

本計画の対象施設は、「飯能市公共施設等総合管理計画」に記載する「保健福祉医療系施設」の「児童福祉施設等」を対象とします。

第2章 施設の実態

2.1 対象施設の概要

(令和2年8月現在)

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	構造	耐震化	備考
美杉台児童館	795.2	平成9年	鉄筋コンクリート造	不要	複合施設
子育て総合センター	2340.48	平成24年	鉄筋コンクリート造	不要	複合施設
いるかひろば	114.5	昭和59年	鉄筋コンクリート造	実施済	複合施設
にこにこひろば	40.8	昭和56年	鉄筋コンクリート造	未実施 (耐震診断実 施済)	複合施設

2.2 施設の現状

児童福祉施設等は、地域のすべての子ども及びその保護者の交流の場の提供及び交流の促進、子育て等に関する相談支援の実施及び情報の発信、子育て及び子育て支援に関する講習等の実施、その他子育て支援に関する事業を実施し、のびのびと子どもが育ち心豊かな成長を喜びあえるまちを目指し、安心して子育てができるよう妊娠期から継続する子育て支援施策を進めています。

これらの施設のうち、3か所は築20年以上が経過し、全体的に施設の老朽化が進んでおり、共有部分については、関係各課の個別施設計画等に従って連携を図り、計画的な修繕が必要となります。また、1か所は築7年が経過し、比較的新しい施設のため適切な時期に予防保全的な修繕が必要となります。

2.3 活用状況

利用人数(人)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
美杉台児童館	30,430	29,766	30,077	29,264	28,134
子育て総合センター	17,995	19,708	18,691	19,226	17,986
いるかひろば	2,805	3,327	2,711	3,171	2,100
にこにこひろば	4,547	3,737	3,611	4,629	3,678

児童福祉施設等では、少子化の進行や子どもと子育て家庭を取り巻く環境が変化する中、多彩な子育て支援事業を提供することにより、子ども及び子育て家庭への支援を総合的に推進していくため、今後も利用ニーズがあることが予想されます。

当該事業を実施しなかった場合は、子どもと子育て家庭の居場所の減少、子どもの見守り及び子育て相談の機会の減少という影響が考えられるため、地域との連携を促進し、関係機関との連携を密に図り、すべての子どもの健やかな成長とその保護者が安心して子育てができるよう、安心安全の居場所づくりを今後も継続していきます。

2. 4 施設維持・管理にかかる経費

【美杉台児童館】

年度	債務負担額 (円)	決算額 (円)	精算額 (円)	備考
平成 27 年度	19,964,000	18,419,022	1,470,978	光熱水費、修繕費、その他施設関連費
平成 28 年度	20,274,000	18,876,733	1,020,267	〃
平成 29 年度	20,455,000	19,845,570	592,430	〃
平成 30 年度	20,666,000	20,237,195	428,805	〃
令和 1 年度	20,044,000	19,591,117	452,883	〃

【子育て総合センター・いるかひろば・にこにこひろば】

年度	子育て総合センター 施設管理決算額(円)	いるかひろば委託料 (円)	にこにこひろば委託料(円)
平成 27 年度	4,613,248	4,386,000	4,386,000
平成 28 年度	4,776,608	5,992,000	5,992,000
平成 29 年度	4,798,354	5,992,000	5,992,000
平成 30 年度	5,459,881	6,025,000	6,025,000
令和 1 年度	5,166,968	6,219,000	6,219,000

※美杉台児童館、いるかひろば、にこにこひろばは、人件費を含む。

第3章 施設整備の基本的な方針

3. 1 施設の規模・配置計画等の方針

児童福祉施設等は、第1章で述べたように地域を基盤とした子ども及び子育て家庭の居場所としての役割を担っている施設です。これらの施設では、多彩な子育て支援事業が提供され、子ども及び子育て家庭への支援を総合的に推進しています。

全体的に施設の老朽化が進行する中、今後は大規模改修の時期を迎えることを踏まえ、関係機関との連携を図ります。

また、最も築年数が古い「ここにこひろば」にあっては、待機児童対策推進のため、令和2年度末までに隣接する加地東小学校へ移設する計画があります。移設後の概要は、以下のとおりです。
(令和2年度末予定)

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	構造	耐震化	備考
ここにこひろば	約 60	昭和 52 年	鉄筋コンクリート造	実施済	複合施設

3. 2 長寿命化の方針

児童福祉施設等が、その役割を果たすために関係機関との連携を図り適切な時期に予防保全的な修繕を行うことで、安全性、利便性等の向上が図られ、長期的に活用することができるよう、関係各課との連携を図り計画的な改善を行っていきます。

第4章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

4. 1 改修等の整備水準

新耐震の建築物2か所は、耐震性能に関しては特に問題は無く、ほか2か所は耐震補強工事を実施するなど施設の水準の維持・向上に努めてきました。社会情勢や公共施設等に求められる市民ニーズを踏まえ、関係各課と連携を図り施設水準の向上を図っていきます。

4. 2 維持管理の項目・手法等

施設の状態や劣化状況等を確認するため、日常点検を職員が行います。また、定められた時期に法定点検を行い老朽化や施設の状態を把握します。

これらの施設は複合施設であるため、関係機関との共有部分については、関係各課との連携を図り計画的な維持・管理を行っていきます。

第5章 長寿命化等の実施計画

5.1 改修等の優先順位付けと実施計画

複合施設として関係機関との連携を図り、定期的な点検を行い、適切な時期に予防保全的な修繕を行うことで、安全性、利便性等の向上が図られ、長期的に活用することができるよう、連携を図り計画的な改善を行っていきます。

①屋根・屋根防水修繕・外壁修繕・排水管設備修繕

水漏れや給排水設備の故障が発生すると施設の利用や事業の提供が困難になる恐れがあるため、優先的に取り組みます。

②照明設備修繕

国の「新成長戦略」「エネルギー基本計画」に基づき、照明器具のうち蛍光灯について、国内各メーカーでは生産を終了しています。近い将来入手できなくなる可能性があることから、照明器具のLED化を進めます。

③エレベーター設備修繕

故障すると施設の利用に支障を来す恐れがあるため、計画的に更新します。

	前期（～2030年） 本計画期間	中期（～2040年）	後期（～2050年）
美杉台児童館 子育て総合センター いるかひろば にこにこひろば	経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復修繕工事	経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復修繕工事	大規模改修工事

■大規模改修にかかる経費

施設名称	延床面積（㎡）	費用（千円）
美杉台児童館	795.2	193,314
子育て総合センター	2340.48	568,971
いるかひろば	114.5	27,835
にこにこひろば	60.0	14,586

※大規模改修の単価は、「公共施設及びインフラ資産の将来の更新費用の試算」総務省ホームページより引用

※大規模改修費用＝（単価1）千円/㎡×1.3（諸経費）×1.1（消費税）
（千円）

	大規模改修費用 （単価1）	建替え費用 （参考）
子育て支援施設	170	330

5. 2 長寿命化の見通し、長寿命化の効果

■修繕周期

項 目		補修	取替
屋根	屋上防水（保護）	12年	24年
	屋上防水（露出）	12年	24年
	傾斜屋根	12年	24年
外壁	コンクリート補修	12年	—
	外壁塗装	12年	36年
	タイル張補修	12年	—
	シーリング	—	12年
内部	内部仕上げ	—	12年
給水設備	給水管	15年	30年
	貯水槽	—	25年
	給水ポンプ	8年	16年
排水設備	排水管	15年	30年
	排水ポンプ	8年	16年
ガス設備	ガス管	—	30年
電気設備	電灯設備	—	15年
	配電盤類	—	30年
	斜線設備	—	30年
情報・通信	電話	—	30年
	テレビ等	—	15年
消防設備	自動火災報知器	—	20年
昇降機設備	エレベーター	12年	30年
外構		—	24年

関係各課の個別施設計画等に基づき、予防保全的な修繕や耐久性の向上等に資する改善の計画的な実施を行った場合の効果は、以下のとおりです。

① コスト縮減

従来の対症療法型の維持管理から、定期的な点検を実施して施設の現状を把握した上で、適切な時期に予防保全的な修繕や耐久性の向上等を図る改善へ移行することで、施設の長寿命化が図られコスト縮減につながる。

② 安全性の確保

定期点検により現状を把握しながら適切な修繕及び改善を実施することで、施設の安全性が確保される。

③ 効率的な維持管理

重要度に応じた維持管理を実施することで、限られた予算の中での効率的な維持管理を実施することができる。

第6章 長寿命化等の継続的運用方針

6.1 情報基盤の整備と活用

施設の基本情報、光熱水費をはじめとする運営経費、工事履歴や劣化情報一元管理します。

6.2 推進体制等の整備

施設管理の質を向上するため、日常点検や法定点検の他に、各種委託業務で行われた点検の報告書等を活用して不具合箇所の早期把握と対応を図ります。また、関係各課及び営繕担当部局等との連携により、幅広い支援体制を図ります。

6.3 フォローアップ

本計画は、施設の改修等の優先順位を設定するものであり、飯能市総合振興計画のなかで、個別の事業費を精査していきます。また、社会情勢の変化、事業の進捗状況、簡易点検、劣化調査などの結果を反映して見直しを図るものとします。